

# 船越中学校便り

中 研 司

<http://www.funakoshi-j.edu.city.hiroshima.jp/>

## 年度末を控え(1)

平成19年度もあと一月余りとなりました。学校はこれから3年生の卒業式や1・2年生の進級に向けた取組みが目白押しとなります。学校が一番忙しくなる年度末年度初めにその忙しさにかまけ、生徒たちに伝えたいなと思いつつも、十分にできずに済ませてしまっていることがあります。

1つは、それぞれの生徒に自分の人生というものについて、この節目の時期にしっかりと考えてもらいたいということです。

3年生はこの時期高校入試や進路選択という問題がありますから、いやおう無く自分の人生について考えることとなりますが、1年生・2年生にも、ぜひとも考えてもらいたいと思います。

もちろん、多くの人がこの時期に思い描いたような人生が歩めるわけではありません。むしろ考えていたものとは、まったく異なった人生を歩むことになる人のほうが、多いと思います。しかし、この時期に、人として生きることの意味や、自分の進路について真剣に考え、思い悩んだことは、その後の、その人の生き方の質を非常に高めているように思えてなりません。近頃は、悩んだり苦しんだりすることを極力避ける傾向が強まっていますが、赤ちゃんが、転びながら歩き方を覚えるように、悩みながら、苦しみながら成長することは社会人として立ち立つための大切な過程のように思います。

2つめは、ずいぶん、昔のことになりますが、短い期間しか担任できなかったある生徒のことです。この生徒は、重い病気に掛かりその病気が治るか直らないかも良く分からない状態で、3年生の進路選択の時期を迎えたのですが、その不安を抱えつつもクラスの中で最も意欲的に進路選択をし、進学のための勉強にも励んでいました。

この時期の生徒にとって、進路を選択することはとても精神的にしんどいことですが、この生徒の場合は、それに加え病気への不安や戦いがあったわけですから、その精神的な強さは感嘆するものがありました。

この生徒と比較するようなことはしてはいけないことですが、たくさんの生徒の中には、自らの進路への不安や日々の学習や生活のしんどさから目を背け、現実から逃げようとする者がいます。逃げて現実が悪化することはあっても改善はしません。目を背けず、正面から困難に挑み、乗り越えていってほしいものです。その先にしか、明るい未来は開けていかないように思います。

## CMづくり(1年生) 職場体験学習(2年生)が終わりました

地域の企業や施設の方々に大変なご協力をいただき、有益な取組ができたように思います。CMづくりについては、2月8日に完成した作品の発表とコンテストを行いました。どの作品も工夫を凝らしたもので、生徒の熱意が良く伝わってくるものとなっていました。

職場体験学習についても、3日間の取組みを整理し、生徒各自の進路選択がより実感を持ったものとなるようにしていきたいと考えています。

CMづくり



職場体験学習

